

日本臨床検査専門医会

平成 23 年度第二回全国幹事会議事録

平成 23 年 6 月 10 日

## 日本臨床検査専門医会 平成23年度第二回全国幹事会議事録

開催日時：平成23年6月10日（金）13時～14時30分

開催場所：アイーナ（いわて県民情報交流センター）会議室803

出席者：渡辺 清明会長、佐守 友博副会長、渡邊 卓副会長、山田 俊幸、東條 尚子各常任幹事、小田桐恵美、北島 勲、木村 聡、諏訪部 章、田窪 孝行、宮澤 幸久、盛田 俊介各全国幹事、高木 康、水口 國雄各監事

欠席者：土屋 達行、村田 満、矢富 裕各常任幹事、安東由喜雄、尾崎由基男、康 東天、熊坂 一成、幸村 近、小柴 賢洋、三家登喜夫、日野田裕治、舩渡 忠男、松尾 収二、前川 真人、満田 年宏、三井田 孝各全国幹事

事務局：藤本 梨恵（敬称略）

定刻、渡辺 清明会長は議長席につき、挨拶の後開会を宣した。今回の春季大会は、東日本大震災の被災地域盛岡において、震災関連の演題を加え、チャリティ形式で開催される記念すべき大会であり、大会長の諏訪部章先生に御礼の言葉を述べた後、議案の審議に入った。

### 審議事項

#### 第一号議案 議事録署名人選任について

渡辺 清明議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 北島 勲、木村 聡各全国幹事

#### 第二号議案 平成23年度会長・監事選挙について

議長は、会長および監事が平成23年12月31日をもって任期満了となるため、改選の必要がある旨を述べ、会長・監事選挙規程ならびに投票要領を東條庶務・会計幹事に提案させた後、議場に諮った。投票は選挙人「番号」を記載するのではなく、記名式にする旨を修正の上、満場一致をもって承認可決した。

監事の被選挙人は、会則上、正会員と有功会員となっているが、名誉会員やB会員の対応について見直した方がよいとの意見があり、資格審査・会則改定委員会で検討することとなった。

また、選挙に関する事務処理作業を円滑に行うため、事務局の FAX を更新することが承認された。

なお、今後の選挙日程は以下である。

- ① 6月11日（土） 総会で承認を得る
- ② 6月13日（月） 予告を出す
- ③ 6月20日（月） 推薦・立候補手続き開始
- ④ 7月8日（金） 推薦・立候補締め切り
- ⑤ 8月8日（月） 投票開始
- ⑥ 9月2日（金） 投票締切（必着）
- ⑦ 9月8日（木） 開票
- ⑧ 11月17日（木） 第三回全国幹事会ならびに総会で承認を得る

### 第三号議案 第39回日本臨床検査専門医会総会における講演会について

議長は、東條庶務・会計幹事に、第39回日本臨床検査専門医会総会における講演会の講演内容について提案させた。高木監事から推薦された橋本信也先生は、前日本医師会常任理事で専門医制度に精通しておられ、2005年11月にも御講演いただいたことがある。議場に諮ったところ、満場一致をもって承認可決した。

日時：平成23年11月17日（木）午後2時10分から3時

場所：岡山コンベンションセンター 2階 レセプションホール

講演内容：日本の専門医制度について（仮題）

座長：渡邊 卓教授（杏林大学病理系専攻臨床検査医学分野）

演者：橋本 信也先生（医療教育情報センター理事長）

### 報告事項

#### 1. 各種委員会報告

##### ① 情報・出版委員会

矢富情報・出版委員長欠席のため東條庶務・会計幹事より、以下の報告があった。LabCP 29巻1号は春季大会特集号を予定している。29巻2号の企画は未定のため案があれば委員長まで連絡いただきたい。JACLaP Newsの記事はベテランの専門医にも原稿を依頼するようにした。WIREは順調に発刊している。平成23年4月から25年3月までの日本衛生検査所協会誌「ラボ」の新シリーズは「検査を知る」として、一般の方々にも馴染みのある検査項目の基礎と最新情報を知らせる内容となっている

佐守副会長より、「ラボ」に非科学的な内容を含む記事が掲載されている点について、日衛協にその旨を伝えた結果、該当する記事には「個人的意見を含みません」と注釈を付けることになったとの報告があった。

## ② 教育研修委員会

山田委員長より、平成23年度の教育セミナーについて以下の報告があった。

### 記

第78回教育セミナー(講義形式セミナー)

開催日時:平成23年4月23日(土)

開催場所:順天堂大学(担当:三井田 孝教授)

参加者数:28名

第79回教育セミナー(実技形式セミナー)

開催日時:平成23年5月8日(日)

開催場所:自治医科大学(担当:山田 俊幸教授)

参加者数:28名

また、本日(6月10日)15時から、第一回生涯教育講演会が開催される旨の説明があった。

開催日時:平成23年6月10日(金) 15時~17時

開催場所:アイーナ(岩手県民情報交流センター) 804(A)会議室

会費:2,000円(事前申し込み不要)

《プログラム》

講義1. 木村 聡(昭和大学横浜市北部病院 検査部長)

「検査室のリーダーシップ入門」

講義2. 高橋 智(岩手医科大学附属病院 医療安全推進室長)

「日常の医療安全と医療倫理」

臨床検査専門医試験(実技試験)問題の事後評価について説明があった。

平成22年度の実技試験問題について受験生の声を聞いた結果、①筆記試験とオーバーラップする内容がある、②免疫血清の分野で時間が不足であり③グラム染色法が経験した方法と試験の方法とで違っていた等の意見があった。これらの意見をふまえ、専門医試験の質を担保するため、第三者による試験問題の

検証が望ましいと考える。そこで、日本臨床検査専門医会から日本臨床検査医学会に、専門医試験問題のレビューを実施するよう会長名で次回の日本臨床検査専門医審議会（平成 23 年 6 月 18 日開催予定）に提案書を提出したい旨の説明があり、全員一致で承認された。専門医試験終了後、日本臨床検査医学会から日本臨床検査専門医会に試験問題レビューの要請があった場合は、山田俊幸教育研修委員長が窓口となり対応することです承された。

（木村聡全国幹事） 地方においては研修施設が近くになく受験資格が得られない人がいる。受験資格の緩和はできないか。

（宮澤幸久全国幹事） 専門医機構の方針では、入会期間は問わないが、研修カリキュラムはきっちりしなければならない。専門医試験の内容、方向性については日本臨床検査医学会専門医委員会で検討するよう報告する。

### ③ 資格審査・会則改定委員会

特になし。

### ④ 渉外委員会

佐守 友博委員長より、平成 23 年 7 月 22 日に予定している第 28 回臨床検査振興セミナーについて、韓国から 2 名の演者を招聘し「韓国の臨床検査事情」についての講演を計画している旨の説明があった。なお、Son 先生は日本語、Kwon 先生は英語での講演で、英語には日本語通訳をつける予定である。

## 記

### 第 28 回 日本臨床検査専門医会 臨床検査振興セミナー(案)

日時:平成 23 年 7 月 22 日(金) 14:00~17:00 (開場 13:30)

場所:東京ガーデンパレス 2F 高千穂

#### プログラム(案)

座長 渡邊 卓(日本臨床検査専門医会 副会長)

特別講演 韓国の臨床検査事情

14:10~14:50

韓国医療における臨床検査医の役割と位置づけ(仮)

演者 Han Chun Son (釜山大学)

15:00～15:40

臨床検査医から見た臨床検査業界と韓国の行政との関わり(仮)

演者 Oh Hun Kwon (延世大学)

16:10～16:50

教育講演 今後の臨床検査の法的整備(仮)

演者 田澤 裕光 (日本衛生検査所協会 副会長)

また、本会も参加している臨床検査振興協議会では、11月11日を臨床検査の日と定め、臨床検査の啓発活動を行っている。振興協議会のクリアファイルの配布あるいは、販促品や教室の封筒等に臨床検査の日のロゴ入れ等の啓発活動に協力をお願いしたい旨の説明があった。

#### ⑤ 保険点数委員会

渡辺 清明委員長より、平成23年度第一回保険点数委員会（日本臨床検査医学会 臨床検査点数委員会との合同開催、平成22年2月28日）、第二回保険点数委員会（日本臨床検査医学会 臨床検査点数委員会との合同開催、平成22年5月30日）の報告があった。また、平成24年度診療報酬改定にむけ、内保連に以下の提案書を提出し、5月31日（火）に内保連でのヒアリングがあった旨の報告があった。今後、厚労省保険局医療課のヒアリングがある予定で、増点に向け活動を続けている。

#### 記

1. 生理機能検査管理加算（未収載項目）
2. 血液採取（既収載項目）
3. 末梢血液像（既収載項目）
4. 尿沈渣顕微鏡検査およびフローサイトメトリー法による尿中有形成分測定（既収載項目）
5. 染色体検査（既収載項目）
6. 悪性腫瘍遺伝子検査（既収載項目）
7. 時間外緊急院内管理加算（既収載項目）
8. 血液細胞核酸増幅同検査（既収載項目）
9. 免疫関連遺伝子再構成（既収載項目）
10. UDP グルクロン酸転移酵素遺伝子多型（既収載項目）
11. WT 1 mRNA 核酸増幅検査
12. サイトケラチン（CK）19mRNA（既収載項目）

また、臨床検査振興協議会の医療保険に関する活動報告があった。今後、本年9月をめぐり「臨床検査に関する提言」を取り纏める予定である。ワーキンググループA/Cは、平成22年度診療報酬改定で増点されなかった項目、増点が不十分であった項目（感染症・微生物検査、末梢血液像検査、尿沈渣、染色体・遺伝子検査、血液採取、初診時における生化学的検査（I）14項目包括枠の新設）について、日本臨床検査医学会、日本臨床検査専門医会と協力して増点を要求する。裏付け資料として、有用性調査ならびにコスト調査を実施し、内保連への提案書にも反映させた。ワーキンググループBは、科学的あるいは臨床的観点から判断した検査分類の見直しと変更について、ワーキンググループDは、検体検査の臨床的有用性あるいは性能を反映した保険区分と実施料の見直しについて提言書に盛り込む方針である。

#### ⑥ 専門医数増加方策検討WG

木村WG委員長より、活動方針の報告があった。平成22年度第2回WG会議（平成22年9月11日開催）で提案した7項目のうち、できることからすすめたい、すなわち、学会ホームページに「活躍する検査医（とくに女医さん）」の事例を掲載する、「学会公認販促グッズ」の具体例と、見積もり、使い方を示す予定である旨について報告があった。

提案項目のうち、専門医試験の問題または練習問題を扱った出版物、研修プログラムの相互乗り入れなどについては日本臨床検査医学会で検討すべき課題として学会で検討していただくよう提案する。

#### ⑦ 専門医広告啓発促進WG

特になし

#### 4. 第22回、23回春季大会について

日野田幹事に代わり、東條庶務会計幹事から開催日程の報告があった。なお、前回の臨時常任幹事会（平成23年4月22日開催）において、医育機関の年度末であり、参加が難しい会員もいると思われるため、開催日程の調整ができないかとの意見があった。大会長に再調整を検討していただいたが、会場や演者の都合もあり予定どおりの開催と決定した。

記

第22回日本臨床検査専門医会春季大会

大会長 日野田裕治 教授（山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学  
分野）

開催日時：平成24年3月23日（金）、24日（土）

開催場所：山口大学医学部霜仁会館、宇部国際ホテル

渡邊卓副会長（大会長）から、第23回春季大会について報告があった。開催日  
時は未定だが、5月下旬から6月を候補としている。

#### 記

第23回日本臨床検査専門医会春季大会

大会長 渡邊 卓 教授（杏林大学病理系専攻 臨床検査医学分野）

開催日時：平成25年5月～6月頃

開催場所：未定

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解  
散した。

議事録署名人

平成23年 9月 26日

北 島 勲 印

平成23年 10月 9日

木 村 聡 印